

“Forward Looking Posture.”

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー 樋口 明



皆様、新年明けましておめでとうございます。明るく、楽しく、元気よく、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

ゴードン R. マッキナリー会長ご夫妻をお迎えして神戸で行われました「ロータリー研究会」に出席いたしました。会長の基調講演「CREATE HOPE in the World」では、愛は心を強くする、愛こそが自分が生きる道であり、思いやりを持って人々に接すること、皆様の活動が、世界に希望を生み出すことを忘れないでください。と強調されました。

今年度の重要事項であるメンタルヘルスについては、How are you? に留まらず、もう一歩踏み込んで、「いつもお元気そうですね。」「ちょっと元気がないですね。」と尋ねることを心がけてほしいと、とてもわかりやすい言葉で語りかけてくださいました。

会長ご夫妻歓迎晩餐会の際には、当地区よりグローバル補助金奨学生としてエジンバラ大学に派遣している松井璃杏さんより送られてきたレポートに、会長のホームクラブである SOUTH QUEENSFERRY ロータリークラブで行われた BBQ に松井さんが参加した写真が載っていましたので、そのレポートを会長ご夫妻にお見せしたところ、大いに喜ばれ、写真に写っている仲間のことを一人一人嬉しそうに説明してくださいました。会長のお人柄がダイレクトに伝わり大ファンになりました。また、講話ではロータリー日本財団の千玄室理事長の「満 100 歳を迎えて」に胸を打たれました。戦友との別れのくだりでは、涙を抑えられませんでした。以下、千理事長のメッセージのキーワードを列挙いたします。

- ・日本は情けの国。
- ・ロータリアンは尊大に威張っては、だめ。
- ・謙虚になる。
- ・After you.
- ・どんな人に対しても笑顔で、心で接する。

そういった小さなことの積み重ねが大きくなっていき、人間としてのあり方、自分の存在価値を高めることができる。

- ・自分のできることから奉仕を積み重ねてほしい。
- ・毎週の例会で自分を磨いてほしい。
- ・自分一人ではできないことをクラブの皆さんと一緒にやってほしい。
- ・ロータリーは愛が中心にあり、その中でも寛容、忍耐が重要。寛容と忍耐がなかったら本当の愛は生まれない。寛容と忍耐を持ってこそ、初めて自分は人のためになろうという行動を起こす。ロータリアンは、行動力を認識しなければならない。
- ・無財の七施
- ・顔での施、にこやかな顔で接する。
- ・目の施、慈しみの目を持たなければならない。
- ・言葉の施、やさしい言葉で接する。
「良かったね。」「お元気ですか?」
- ・心の施、ニコニコ(スマイル BOX)には、自分に代わって役に立ってくれますように!との思いを込めて投函している。そして、ロータリーは自分を磨く場所、心を磨く場所、絆を持つ場所、手を握り合う、All together with you. でなければならない。

少しでも前進していく自分の姿を常に意識して行動すること。100 年間生きてきて振り返ることはあるけれど、Forward Looking Posture. 姿勢を正して前を見る。という言葉の皆様を送りたいと思います。と結ばれました。

これ以上余計な解説は必要ないです。お言葉の一つ一つが私の心に刺さっております。

今月は職業奉仕月間です。

職業奉仕を理解するためには、当誌シリーズの「先達を敬い」、「未来を見据えて」をまとも読みをしていただくこともお勧めいたします。そして、皆様の会社には、企業理念、社是、社訓、モットー、大事にしていることがおありだと思います。まさにそこに職業奉仕の要諦が凝縮されているはずで

1 月は、職業奉仕月間です。